

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL. 4

開催地：多良木町黒肥地7区

平成19年5月22日（火）、多良木町黒肥地7区において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」を実施しました。

黒肥地7区公民分館にて開催された同報告会には、約30名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

いただいたご意見等並びにご意見等への回答については下記のとおりです。

なお、報告会の時に回答した内容が不十分であったところについては補足しています。

参加者数※

町内	22名
町外	3名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問	ご意見・ご質問への回答
<p>【河川整備基本方針の説明について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 方針に関する説明について親切丁寧に行って頂きたい。 （1.森林面積について針葉樹、広葉樹別の水位や森林に水を蓄えるための手法等。 歴史的洪水の説明について計算の設定条件（河道条件）や今の市街部が形成された時代等。 人吉層が分布している具体的な範囲（鉄道橋付近は凝灰岩と考える）。 魚や水生昆虫がどのくらい減ったのか等） 	<ol style="list-style-type: none"> について 球磨川流域においては、経年的に森林の状態（樹種の割合等）の変化はあるものの、昭和20年代以降、降雨の流出形態に大きな変化は見られません。 森林には洪水緩和機能があり、治水上も重要であることから、関係機関と連携して森林の保全に努めていくとともに、保有しているデータについて分かりやすい形でお示ししていく必要があると考えています。 について 球磨川の人吉区間における本格的な河道改修は昭和40年洪水以降であり、それ以前には大規模な河道改変は無かったものと考えられます。 このため、歴史的な洪水の検証は、現存する最古の資料である昭和40年河道断面により実施しています。 について 人吉層は人吉市街地の川沿いに広く分布しています（第8回小委員会[H18.11.15]資料3を参照）。 について 「河川水辺の国勢調査」として、平成2年度から魚類や底生動物等の調査を実施しています。これまでの調査結果では、球磨川において生物の確認種に大きな変化は見られませんが、それぞれの種の個体数がどれくらい変化したかについてデータを持ち合わせていません。 今後とも、調査・モニタリングを継続していきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> 基本高水流量の7,000m³/sは過大であるという学者がいるという話を聞いた。 	<ul style="list-style-type: none"> 球磨川水系において目標としている治水安全度は、全国と同規模の河川と比較しても妥当な規模と考えられます。 この安全度に相当する基本高水のピーク流量について、全国の河川で一般的に用いられている手法で算出された人吉地点の

	<p>基本高水のピーク流量 7,000m³/s が妥当な流量かどうかという議論が小委員会でもなされました。</p> <p>具体的には、平成 18 年に川内川で降った雨が球磨川で降ったと仮定した場合の検討や歴史的洪水の検証など様々な検討を行ったうえで、7,000m³/s が妥当な流量との結論に至りました。</p> <p>なお、宮崎県の大淀川、五ヶ瀬川では、過去 40 年程の間に基本高水のピーク流量相当の洪水は発生していなかったにも拘わらず、平成 17 年にこれを超過する洪水が発生しています。このようなことから、球磨川で基本高水のピーク流量 7,000m³/s 相当の洪水は起こり得るものと考えています。</p>
<p>【球磨川の治水対策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 洪水時にダムから放流すると球磨川の水位が高くなるため、水門を開けても水が吐けず水がたまってしまい、王宮神社付近の民家 1 軒や田畑が浸かっている状況。排水口の整備など対策を行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 一般的に、ダムが洪水調節を行うことで、ダムがない場合と比較して下流河道の水位は低下し、内水排除等にも寄与しているものと考えていますが、洪水のどの時期に浸水被害が生じたのかなど、現地を確認させていただくことが重要と考えています。 報告会后、ご発言いただいた方や熊本県の担当者と一緒に現地を確認させていただきましたが、王宮神社一帯の内水対策について、当該地区を流れる牛繰川を管理する熊本県とも連携して検討していきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> 王宮橋下流右岸の河川敷が藪になっており、川の流れを阻害していると思うので撤去して頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 報告会后、ご発言いただいた方や熊本県の担当者と一緒に現地を確認させていただきましたが、今後、洪水時にどの程度影響を与えているか検討を行い、対応策を考えたいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> 人吉市の河川整備が厳しいことを考えると、人吉市街地をバイパスする河川を作ることは検討しないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘の件に沿って、仮に人吉市街部をバイパスにより迂回した場合でも、球磨川中流部では、バイパスで分流した水が戻ってくるようになります。 中流部において川で流す量を増やそうとする場合でも川底が堅い岩の部分が多いため掘削は困難です。また、嵩上げを行う場合も、十数 km に及ぶ J R や国道等の嵩上げが必要となるほか、かつて宅地嵩上げを行った地区について再度嵩上げが必要になるなど、影響が非常に大きいと考えられます。 従って、球磨川の治水対策を進めるにあたっては、上流・中流・下流のバランスに配慮した方法を考えることが不可欠と考えています。
<ul style="list-style-type: none"> 相良村の不発弾を取っただけで川の流れが良くなり、今年は水害が起きなかったという話を聞いた。まずは、ダムを造るのではなく土砂を撤去されてはどうか。川辺川の不発弾撤去を行った箇所付近は堤防もなく地元の方は対策をしてほしいと言っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘の件ですが、例えば、一昨年に土砂撤去を行った人吉の中川原公園付近では、平成 17 年 9 月、18 年 7 月の洪水で検証したところ、土砂撤去による水位低下は最大で約 13cm との結果になりましたが、土砂撤去の効果は、土砂撤去を行った箇所の数 km 上流までにとどまっています。 土砂撤去は、このように部分的に水位を下げる効果はありますが、川全体で水位を下げるためには、大規模な土砂撤去が必要となり、この場合、例えば人吉市の区間では人吉層の露出により河道の維持や自然環境に大きな影響が出ることから、現実的ではな

<ul style="list-style-type: none"> ・黒部ダムや清願寺ダムではかなりの土砂が堆積していると聞いた。川辺川ダムでもそのようになるのではと懸念している。 	<p>いと考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダムの土砂堆積に対してご懸念があったことは、今後策定する河川整備計画の検討の際の参考にさせていただきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・ダムの堆砂量について、水を貯める容量（洪水調節容量）と土砂を貯める容量（堆砂容量）の内容がわからない。 	<p>【熊本県回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダムは100年分の堆砂容量が建設時に確保されています。
<ul style="list-style-type: none"> ・市房も含めてダムの堆砂容量が満杯になった後に、100年に1回の大洪水が発生した場合、当然、水と一緒にかなりの土砂も流れてくると思う。その場合、洪水調節容量まで土砂が埋めてしまい、治水機能を果たせなくなるのではと思う。 	<p>【熊本県回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダムは100年分の堆砂容量が建設時に確保されています。その後、上流に貯砂ダムを設置し、流入を定期的に排除しております。浚渫等適正な維持管理に努め、満杯になるまで放置するようなことはありません。
<p>【球磨川の環境について】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・里の城大橋の下にはサイクリングロード等が整備されており、河川敷に降りるために20m位の階段も整備されているが、草が生い茂っており利用できない状況。憩いの場、レクリエーションの場として町民が利用できるように整備してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・報告会后に、ご発言いただいた方と一緒に現地を確認させていただきました。今後、住民の方々が利用しやすい空間となるよう、多良木町とも連携して、取り組んでいきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・中鶴橋から王宮橋の間は子供たちの遊びの場となっているが、三角ブロックや蛇籠等があり危険である。子供たちが安全に魚釣りや水遊びが出来るようなもの（水制など）を2カ所ほど整備してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・報告会后に、ご発言いただいた方と一緒に現地を確認させていただきました。今後、子供たちが安全に水遊びができるよう、対応について検討していきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・市房ダム下流の川底の石が白くなっている。 	<p>【熊本県回答】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・水質汚濁防止については、人吉球磨、八代の住民が一体となって川づくりへの意識の高揚を図っていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・石が白くなっていることと、市房ダムとの関連については分かりませんが、平成18年の夏から発電用の温水取水設備を活用し、上層部から取水し、下流へ流しています。その効果について現在検証を行っているところです。
<ul style="list-style-type: none"> ・大雨が降ると土砂を留める機能がないため、濁り水がそのまま河川に流れ込んでいる。林業関係者・国・県が一体となって会合を頻繁に図り対策を行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省では、県、市町村等と水質汚濁対策連絡協議会を組織し、関係機関が連携して必要な対策を行ってきているところです。 ご指摘のとおり、引き続き、関係機関や地域住民の方々と連携を図り、水質の保全・改善に努めていく必要があると考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・山腹崩壊に伴う河川内への土砂流出による濁水の発生を少しでも軽減するため、まずは関係機関と情報を共有し、連携して総合的な取り組みを推進していく必要があると考えています。 	
<p>【その他】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・国交省、県が一体となってこの会合を開かれている。単なる意見を聞く場でなく、今後の河川整備がより効果が出るような対策を取ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、球磨川の整備を進めるにあたっては、熊本県との連携が非常に重要であると考えています。 いただいたご意見も踏まえ、今後とも、河川整備を進めるにあたっては、熊本県と連携しつつ、地域の方々のご意見等を伺いながら進めていきたいと考えています。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ 誹謗中傷するような発言については掲載しておりません。